

みなお通信

高崎市議会議員 高橋美奈雄

<市政相談連絡先>

〒370-0041

高崎市東貝沢町2丁目32-6

TEL&FAX 027-363-2733

E-mail: minao.t@jcom.home.ne.jp

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに初春をお迎えることと存じます。日頃より後援会をはじめとする地域の方々には、市政活動に温かいご理解とご協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、ウィズコロナ社会において、多くの市民の皆さまが地域活動の中止や縮小を余儀なくされ、不安を抱えながらも活動の在り方を模索し続けてきました。そのような中で私たち一人ひとりが、今までの経験や情報を活かしながら社会経済活動を前進させているといえるでしょう。

去年は、ロシア軍によるウクライナ侵攻、北朝鮮のミサイル発射、物価高騰や歴史的な円安、さらに日本の防衛対策が大きく転換するなど、国内外で重大なニュースが続いた一年でもありました。いずれにしても、国民が納得できるような丁寧な説明、議論により安心・安全な社会の確立を望みたいものです。

明るい話題もありました。スポーツでは、二刀流の大谷翔平選手やサッカーワールドカップでの日本代表の活躍は、私たちに勇気と感動を与えてくれました。コロナ禍でもできる可能性、希望の光が見えてきたように感じられた方も多かったのではないのでしょうか。

これからも豊かな市民生活、自然災害への備えはもちろんのこと、子育て支援対策や医療体制の充実等、住民の皆さまの声を直接聴き、実態を理解することが地方議会の役割であるという考えの基、初心を忘れず全力で活動に取り組みますので、引き続きご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

【12月市議会定例会報告】

令和4年第5回市議会定例会は、11月30日から12月14日までの15日間の会期で開かれました。本定例会では、土地取得について、高崎市個人情報保護に関する法律施行条例の制定について、高崎市一般会計及び特別会計補正予算議案などの審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

なお 一般会計補正予算は、救急医療対策事業や物価高騰対策農業経営安定化支援金など国の地方創成臨時交付金が主な財源となり、歳入歳出予算の総額は、1,777億4,183万円となります。



十二月定例会

市政に対する一般質問

一般質問は、四日間にわたり二十八人の議員が行い、高橋みなおは四日目に登壇し、質問しました。以下、概要を報告します。

18歳成人と改正児童福祉法に関する支援現場の声について

民法では成人年齢引き下げ、児童福祉法では引き上げといったねじれ現象が起きており、国では柔軟に対応するよう求めているが、支援現場では困惑もあるという。本市では、児童養護施設や里親家庭で育つ若者は何人位いるのか。

令和四年十一月時点で、児童養護施設などの施設に八十四人、里親家庭及びファミリーホームに十七人となっている。

児童相談所開設に向け準備は進んでいるが、施設で暮らし続けたいという本人の意思を尊重すると、一方で施設の定員を圧迫するなど難しい場面も想定される。相談体制や情報提供はどのように構築していくのか。

本市が児童相談所を設置すると、市内の児童養護施設や里親、ファミリーホーム等について所管することになり、各施設との

連携強化を図ることが可能になる。運用面も柔軟に対応できるようにするので準備を進めていきたい。

改正児童福祉法の中で、民間が運営する里親支援センターを児童福祉施設と位置付け、国が経費の半分を負担することになったが、この業務は児童相談所が立ち上がるまでの間は県と市のいずれが対応するのか伺う。

本市の児童相談所が開設されるまでは県が対応する。里親支援センターの具体的な内容は、現在国での検討段階なので動向を注視していきたい。

児童福祉施設等で生活する青少年の自立を促すため、免許取得費等の支援を行う自治体もあるが、本市の考え方は。

自治体により児童に対する支援に差が見られるので、国や県での統一的な対応が望まれる。児童相談所設置後は支援の在り方を研究していきたい。

ウイズコロナ地域活動の現状と支援について

コロナ禍でも工夫をして地域活動に取り組み、地域の祭りや運動会を再開しているが、地域づくりの活動とともにどのように動き出していると捉えているのか。

感染対策を徹底したうえで時代に対応した事業を実施する団体が増えている。地域づくりが活性化するように支援していきたい。

本市には長年培ってきた市民力と地域力の高さがある。金古運動広場を拠点に活動している「Jエボランティアclub」のように子どもたちが元気に頑張るのは地域の活力源となるが、どのように認識しているのか。

子どもたちの参加で交流が盛んになり地域全体に良い影響が期待される。民間企業やボランティア団体などの取り組みも重要と考え、情報収集に努め周知していきたい。

金古運動広場では指定管理者が成果を上げているが、高崎財団でも特性を活かした地域活動支援が考えられるのではないかと。

安全に施設を管理運営し、まちづくりの拠点として地域に貢献していきたい。

♪ 後記 ♪

「青春って、すごく蜜なので…」 昨年夏の甲子園で優勝した高校野球部監督のこの言葉に大きく共感した方も多かったのではないのでしょうか。当たり前と思っていたことができないう苦しさを代弁してくれたともいえるでしょう。

日本マーチングコンテストにおいて、塚沢中学校と農大二校が連続で金賞に輝いたことも感激しました。困難な時こそ実力を発揮して成果を出し切った子どもたちに感動したのは私だけではないでしょう。